

# 理事長あいさつ

静岡県作業所連合会・わ 理事長 三輪 浜子

平素より連合会運営に深いご理解とご協力を賜り、また地域福祉向上に向けご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年度は、新型コロナウイルス感染でおこなうことができませんでした。今年度はオンラインという形で十二月十九日（土）第二回作業所学会が開催されました。

午前の部は、炭谷先生より、ソーシャルファームの原点・役割が「生きること・働くこと・働く姿を作っていくこと」というお話がありました。作業所には、障害のある人ひとり一人が地域社会の一員として、働き、暮らしていく拠点としての役割があり、共感でき興味深く感じました。その講和の『誰一人取り残されることのない社会・人を大切にする』というモチーフが、午後の分科会に繋がりました。

午後は、意思決定支援、就労支援、地域生活支援の三つの分科会から日々の実践を発信しお互いの『学』となりました。全体会では、増田樹郎教授の進行により、「当事者の思いに寄り添う支援のため」に「各分科会の報告と意見交換が行われました。

日頃から働く仲間を正しく理解し、個々に合った仕事や生活を組

立、意思を確認することが、仕事への充実感や職場の雰囲気作りにつながります。お互いを理解しあえる環境や関係性をどう反映しているかが次年度の課題に繋がるのではないかと思います。

今回、多くの方々のご協力や実践報告のおかげで、笑顔と元気が出る作業所学会となり、改めて感謝申し上げます。